

和田地区 人・農地プラン実質化

市町村名	対象地区名	作成年月日
篠栗町	和田地区	令和4年3月31日

1 対象地区の現状

アンケート協力者	36名（内1名は法人）
アンケート協力者の耕作又は所有総面積	224,150㎡
地区内における70歳以上の農業者数	22名
地区内における70歳以上の農業者の耕作又は所有総面積	145,480㎡
地区内における70歳未満の農業者数	13名
地区内における70歳未満の農業者の耕作又は所有総面積	78,670㎡
地区内における今後後継者がいない農業者の耕作又は所有総面積	145,980㎡

2 対象地区の作物状況（地区全体の状況のため、1の面積とは異なる）

順位	作物	作付面積
1位	主食用水稻	178,220㎡
2位	小麦	85,730㎡
3位	飼料用米	13,930㎡
4位	野菜	10,060㎡

3 対象地区の課題

- ① 70歳以上の高齢農家が多い
- ② 担い手が不足
- ③ 耕作されない、自己保全農地が増加傾向にある

4 対象地区の今後

高齢化が進む状況で、限られた担い手に農地を集約していく必要がある。併せて、法人を中心に担い手の育成も今後必要となる。農家が耕作できない農地及び担い手がない農地を、地区の中心経営体に集約を目指し、地区内の農業の維持を図る。

また、作付作物については、主食用水稻の需要減が見込まれることから、主食用米からの転作として、小麦や飼料用米及び野菜を中心に転作作物の増加を図っていく。

5 対象地区の中心経営体

- ・ 農事組合法人 和田
- ・ 阿部 英勝



法人和田



阿部英勝



担い手いない農地



担い手いる農地

